

南山城学園 × 「福祉」のイメージ

想像超えの
福祉法人
vol.2

南山城学園 ×

「福祉」のイメージ

南山城学園は京都府南部を中心に展開する、大手の社会福祉法人。今日は福祉業界に一定のイメージをもつ大学生2人が訪問。実際に働く人の話を聞いて、ものの見方が変わる過程を追いかけた。

大変そうに見える仕事は
福祉の仕事のすべてではない

緑豊かで広大な敷地に足を踏み入れた学生2人は、「なんてスタイルシユな建物」と目を見張る。明るく爽快な吹き抜け。想像していた福祉施設のイメージとは違ったようだ。

学生のひとりは、祖母のために介護施設を見てまわった経験があり、「体が不自由な人の排泄の世話が大変そう」という印象を受けたと話した。

そんな学生の問い合わせに対して、入職3年目の西川慧人さんはこう答える。「人間は生きている限り食事もすれば排泄もします。僕もあなたもしますよね。そのなかで、食事ではなく排泄介助だけがクローズアップして注目されがちですが、それは福祉の仕事のすべてではありません。『目の前の人的人生を支えること』が、私たちの仕事の本質です」と熱を込める。ちなみにこれまで西川さんが3年勤めた間に利用者さんの排泄の失敗が起こったのは一回程度という。

田中胡太朗さんも「もちろん利用者さんのなかには排泄に失敗する方もいます。なにもわからない就職直後は、私も心理的な抵抗がありました。でも、2回程度」という。

西川さんは「もちろん利用者さんのなかには排泄に失敗する方もいます。なにもわからない就職直後は、私も心理的な抵抗がありました。でも、2回程度」という。

西川さんは「初めてその様子を見たときは、僕もびっくりしました。でも、それはなにかへの攻撃ではなく『お腹がすいた』という表現だと、気づいたのです」。一見、不可解に見える行動は、記録を取りつて法則性を探り、チームで共有しています。

正しい手順を知れば、業務の一環として慣れています」と話す。

「たとえば、半身まひの人が一人で服を着ると2時間かかるけれど、僕らが介助すれば10分で着られる。そういう思いで、行き着くんです」と西川さんは続ける。

これには学生2人も「なるほど!」自分が偏ったイメージを持っていたことを気づきました」とうなずいた。

西川さんは「これは学生2人も「なるほど!」自分が偏ったイメージを持っていたことを気づきました」とうなずいた。



南山城学園は京都府南部を中心に展開する、大手の社会福祉法人。利益を追求しない福祉法人でも、給与は一般企業とほとんど変わらない

南山城学園ののような社会福祉法人は非営利組織であり、利益は追求しない。「福祉業界は給与が低いし人手不足という報道も見たことがある。利益を追求しないなら、給与も安いのでは?」という先入観も学生にはあったが、「給与は一般的な企業とほとんど変わりませんよ。ボーナスもあるし福利厚生も充実しています」と西川さん。

西川さんは「多様な意味で、南山城学園のみなさんが楽しく働いておられるのが伝わってきました。就活は一般企業だけを対象にしていましたが、もう少し視野を広くもどうかと、心が揺れています」「福祉は使命感のある特別な人が就く仕事だと思っていました。でも、この社会の全員に必要なことを、楽しく意欲的に取り組む人が支えているとわかりました」。

西川さんは「学生たちは、取材を通じて、自分たちの思い込みに気づいた。そして福祉の仕事の本質、そのおもしろさを発見した。

て理由を分析する。理由がわかれれば、解決策も見えてくる。

「言葉が通じないときは、言葉以外の方法でコミュニケーションをとる技術もあります。利用者さんが笑ってくれると、伝わった! という喜びがありますね」と西川さん。

また利用者は、嘘やおべつか抜かりに本当の感情を出してくる。夜勤終きに帰ろうと歩いていたら急に利用者さんに「西川さん、好きやで。ありますね」と西川さん。

「ここには人ととの真摯な関係があります。それに向き合うのが福祉の仕事特有のおもしろさですね」。企業勤めの経験と比較して、西川さんは教えてくれた。

「西川さんが、利用者さんのさまざまなお行動を含めて、おもしろいと受け止めておられることに発見がありました。そういった感性がある人が福祉業界に向いているんでしょうか?」と学生が聞くと、入職4年目の今後芙泉さんは「そうかもしません。私も学生のとき、社会人は少しだけと思い込んでいたけれど、逆でした。ここに入職してみたら毎日が楽しいんです」と言う。また入職1年目の吉村佳奈子さんは「部活のマネージャーをしていました私は、適性があったと感じます」と話す。人をサポートして成功一緒に喜べる人は、この仕事に向いているそうだ。

「そもそも『仕事はつらいもの』と思いつ込んでいました。福祉業界で、『おもしろい』『楽しい』という言葉が聞けるのは意外でした」と学生2人は驚きを隠せない様子だ。

西川さんは「一般企業で働いた経験もある。株式会社だったんですが、売り上げと効率を追求する組織でした。お客様の幸せのためではなく自分の数字のため仕事をするのがしんどくて」。そして目の前の人深く関わる仕事をしたい、南山城学園に入った。

西川さんは「南山城学園ののみなさんが利益を追求する株式会社に対して、南山城学園ののような社会福祉法人は非営利組織であり、利益は追求しない。『福祉業界は給与が低いし人手不足という報道も見たことがある。利益を追求しないなら、給与も安いのでは?』という先入観も学生にはあったが、「給与は一般的な企業とほとんど変わりませんよ。ボーナスもあるし福利厚生も充実しています」と西川さん。

西川さんは「多様な意味で、南山城学園のみなさんが楽しく働いておられるのが伝わってきました。就活は一般企業だけを対象にしていましたが、もう少し視野を広くもどうかと、心が揺れています」「福祉は使命感のある特別な人が就く仕事だと思っていました。でも、この社会の全員に必要なことを、楽しく意欲的に取り組む人が支えているとわかりました」。

西川さんは「学生たちは、取材を通じて、自分たちの思い込みに気づいた。そして福祉の仕事の本質、そのおもしろさを発見した。



社会福祉法人 南山城学園

法人本部: 城陽市長池五社ヶ谷14番地1
TEL: 0774-54-7210
FAX: 0774-54-2117
<https://minamiyamashiro.com/>
従業員数: 約800名(2025年4月1日時点)
設立: 1965年2月
主な事業内容: 第一種・第二種社会福祉事業(障害・高齢・児童)、公益事業(診療所、研修事業)



JOB INFORMATION

正社員募集

『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見て応募ですとお伝えください。



文理不問

個性重視

【給与】240,000円(大卒・総合職・基本給) ※中途採用は職歴、学歴により異なります。

【昇給】年1回、賞与年2回

【勤務手当】通勤手当、夜勤手当、住居手当、扶養手当

【勤務地】京都府城陽市・宇治市・京都市・大阪府島本町

【勤務時間】1か月単位の変形労働時間制(実働7時間30分)

【休日】週休2日制(年間120日)、年次有給休暇、特別有給休暇(慶弔休暇・結婚休暇・配偶者の出産休暇など)

【福利厚生】健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、退職金制度、産休・育休制度(育休後・短時間勤務可)

【連絡先】法人本部事務局新卒採用担当(佐々木・田中)TEL0774-54-7210



新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます(例・広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降)。「在学中のみなさんが今何年生なのか」に応じて、時期によりお伝えすべき情報は変わります。詳細は人事部に直接お問い合わせください。